

## 日本口腔衛生学会 フッ化物洗口で

日本口腔衛生学会（山下喜久理事長）は、「施設・学校でのフッ化物洗口の一時的中断もやむを得ない」とする声明を4月20日付で発表した。新型コロナウイルス感染症の流行により、フッ化物洗口による飛沫で感染リスクが高まる懸念が広がっていることを受けたもの。一方、一時的中断によってう蝕の罹患状況の悪化を招く可能性も高まるとして、事態が収束したら速やかに再開する

## 中断もやむを得ない

ことを強く勧めている。このような状況のもとでもフッ化物洗口を継続する際には感染予防のため、①集団で洗口場所に行かない、②洗口場所では、間隔をおいて吐き出す、③窓を開けて洗口場所の通気をよくすることのほか、吐き出す際に、口から近い位置で紙ロップの中に吐き出すようにしたり、口を閉じフクフクうがいをしているかを確認するなどの対応を推奨している。